

住宅用火災警報器を 正しくつけましょう!

(すべての寝室と階段の上部)



着衣に着火し、火傷により死亡。

1人(10%)

判断力に欠け、あるいは体力的に避難できなかった。2人(20%)

逃げる機会を失った。2人(20%)

住宅火災による
死者数
10人

避難行動を起こしたが逃げ切れなかった。5人(50%)

逃げ遅れ
9人(90%)

<住宅火災での死者発生状況(平成30年経過別)>

平成30年に本組合管内で発生した住宅火災で、**10人の尊い命**が失われました。

死亡するに至った経過を分析すると**90%**が「**逃げ遅れ**」によるもので、**これらすべての住宅で住宅用火災警報器が未設置**でした。

住宅用火災警報器は、火災を早期に発見して知らせることで、**皆さんと大切なご家族の命**を守ります。

まだ未設置のご家庭は、必ず設置しましょう。

また、**設置から10年が過ぎた機器**は、**部品等が劣化**してますので、**新品に交換**を推奨しています。

郡山地方広域消防組合



◀ 詳細はこちら